



2023.6.1
Vol.24

芽吹く未来へ



社会福祉法人 萌葱の郷
自閉症総合支援センター・子育て総合支援センター

JKA Social Action

競輪とオートレースの補助事業



利用者さんの“作品”や“好きなもの”が溢れる空間
nagomcoffee が2023年4月に誕生しました！



規模拡大推進委員のメンバー時計担当の内村龍之介さんが選んだ重さ10kg以上幅60cm以上の重厚感があるアンティーク時計。



2階は白を基調とした洗練されたデザイン。

規模拡大推進委員のメンバー音響担当の阿南友木さんセレクトのおしゃれなレコード。BGMはお客さんからセンスが良いと大好評。



オープン準備に携わってくださったメンバー皆でテーブルット。

アンティークな家具に囲まれたこだわりのコーヒーショップ。



み工房（生活介護）の岩崎本展さんの作品
テーマにした巨大ステンドグラスは圧巻！

現代美術家 kana さんとなごみ
工房（生活介護）の山本実奈
さんのコラボ作品のイブちゃん。



@NAGOMI_COFFEE

英国のチューダー様式を模した外観 /
2階部分は旧事業所と渡り廊下で繋がっており、
一体的に運営が可能な構造。

実施事業

生活介護

9:00-15:00（定員1日10名）

就労継続支援B型

10:00-15:00（定員1日10名）

放課後等デイサービス

14:00-17:00（定員1日10名）

日中一時支援

保育所等訪問支援

15:00-17:00

Access

〒879-7304

豊後大野市犬飼町大寒 2148-1

ライフサポートセンターなごみ園

TEL (097) 586 8070

FAX (097) 586 8071

MAIL nagomi@moeginosato.net

nagomi coffee

TEL (097)578 0753

FAX (097)578 0808

平成13年の10月に事業を開始したなごみ園ですが、平成29年度より放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業に加え、幼少期より通所していただいた方に高校卒業後も同じスタッフがサポートできるよう、生活介護事業をスタートしました。生活介護事業の開始から6年が経ち令和5年より、公益財団法人JKA様より競輪の公益資金による補助を受けて、既存の建物に併設する形で就労継続支援B型事業を行う建物を新築しました。新規事業所の建築にあたり、『職員の思いや、なごみ園に通う子どもたちの夢が詰まっている。』そんな場所にしていきたいと考え、関係する様々な方の意見やアイデアを集めました。「規模拡大推進委員会」というネーミングで、子どもの頃からなごみ園に通っている10代男性利用者4名と職員で構成されるメンバーで合計7回の外出活動を行い、職員や利用者といった垣根を越えて準備を進めてきました。インテリアの買い付けに出かけたり、コーヒーショップ店内で流すBGMを選んだりと積極的に新規事業所の準備を行い、自分たちが働く場所を生き生きとプロデュースしていく彼らの姿は頼もしく、成長を感じることができて大きな感動がありました。

就労継続支援B型事業ではコーヒー豆を自家焙煎し、オリジナルブランド「nagomi coffee」として販売しています。コーヒー豆の焙煎、選別、ドリップ袋を作成するほか、コーヒーショップの接客業務や配達作業を行っています。他にも、コーヒーパッケージのデザインを行ったり、商品化のためのアート活動など、商品展開・販売のための様々な作業に利用者さんが携わっていく予定です。4月23日のコーヒーショップオープン時には、200人以上の来場者があり、地域住民の憩いの場に留まらず、アート活動の発信の場や新たな就労支援施設のモデルとして多くの人に親しまれる場所になる可能性を強く感じる事ができました。

今後、なごみ園では利用している方々に、ライフステージを通じた継続した支援ができるよう体制を整えてまいります。



ライフサポートセンターなごみ園
施設長 秋月正博



理事長 五十嵐 康郎



受容的交流療法を継承する

自閉症児治療教育実践講座に参加したご縁で石井哲夫先生との師弟関係が始まり、受容的交流療法に大きな影響を受けて、理想的な自閉症施設創りを思い立ち、石井先生に理事にご就任頂き、理事会、講演会と大分に何度も足をお運びいただきました。

わが国では、自閉症療育に限らず、多くの分野において欧米の理論や考え方を偏重する傾向がありますが、石井先生の受容的交流療法と成瀬悟策先生の動作法は日本の文化との融合から生まれた極めて貴重な財産だと思っています。出版社に問い合わせたところ、石井先生のご著書は在庫も再版の予定もないとのことでした。

受容的交流療法を後世に伝えなければ、自閉症療育や教育・対人支援にとって大きな損失になるのではないかから、受容的交流療法を集大成し、スーパービジョンや職員養成、治療教育の変遷、福祉制度や家族への援助、ご自身の実践と理論の成り立ちにも言及した石井先生の代表作ともいえる「自閉症と受容的交流療法」（1995年・中央法規）の中から先生が書かれたことばを中心に私の感想や体験も交えながら、YouTubeで発信することにしました。

約1年程度かかるとは思いますが、「いつでも、どこからでも、なんどでも」見ていただけるので、自閉症療育や対人支援の原理原則をお伝えできるものと確信しています。

ご著書には先生の貴重なメッセージが随所にあふれていますが、ここではそのごく一部をご紹介しますと思います。

「人として生まれたからには、人として人生を歩んでほしい。そして共に生き、共に老いたいと思う。私が

考え実践していることは、彼らの心を育てるということなのである。」

「私は自閉症児に愛情を注ぎこむことから療育活動を始めるべきであると考えている。生半可な技術論を云々することよりも、目の前の自閉症児をどれほどの深い想いを込めてかわいがることができるかが支援者に問われるのである。」

「受容的交流療法の中で重要な位置を占める『受容』は、こちらが一方的に子どもを受容するというものではなく、子どもからも受容されているという状況を重視しているものである。私は、これを『相互的受容』と名付けている。」

「支援者は他人と共感できる『思いやり』の感覚を基本に持つこと、支援者としての資質を向上させるためには『思いやり』を育てることが大切である。」

受容的交流療法は自閉症療育のみならず、対人支援や教育、夫婦、友人、同僚など、対人関係、人と人との接し方の原理原則であり、利用者の福祉に反しない限りという前提条件付きで、行動療法 TEACCH プログラム、感覚統合などの考え方や技法を否定したり、対立するものではないと考えています。

私自身、受容的交流療法を基本理念としながら、ノーマライゼーション、行動療法、動作法、TEACCH プログラム、ニューカウンセリング等の様々な理念や技法を取り入れながら療育や支援に取り組んできました。



心が動く保育！ドラマティック保育！！

心理治療法である心理劇（サイコドラマ）を応用して開発させた発達支援方法です。その内容は日常の教育保育発達支援場面のみならず、行事等においても保育教諭をはじめとする各専門家が協働して現実感やストーリー展開を重視した環境構成や配役を演じていながら①補助自我（代弁的アプローチ等）を通してこどもの意欲や非認知能力を強化させるとともに、五領域の発達を促すことで社会性やコミュニケーションの獲得を目指していくようにします。また、児童への支援計画や発達評価は養護と五領域における②イコールレーダー（五領域分析）を通して省みるとともに、保育者による補助自我については③イコール分析（五蘊分析）を活用することでマインドストーリーの読み取りや支援内容の修正をすすめながら発達を促していきます。



センター長 五十嵐 猛

数々のアバター



動画で様子がみれます

子ども達との信頼関係を構築

私は、保育士として萌葱の郷に入職させていただき、現在いぬかいこども園にて67名の園児の保育に携わっております。今回は、誠に恐縮ですが園としての取り組みや、私自身心掛けている配慮についてお伝えしたいと思います。

子ども達は、遊びを通して人間関係や社会経験を培っていきます。子ども一人一人の発達段階及び家庭環境も様々な中、安心して園生活を過ごせるため、保育士だけでなく様々な職種の保育者が毎日の成長を見守っています。多職種連携で安全を保障するため、法人倫理綱領や園の理念に基づき環境を整え、子ども達との信頼関係を構築していきます。その中で、こども園での生活は楽しいこと以外にも、時には思いが通らず悲しい、くやしい思い経験する事がありますが、安心して思いを保育者に発信できるよう寄り添いは欠かせません。

友達同士で応答的なやり取りが難しい時は、相手の思いを汲み取れるよう双方に代弁者を置き気づききっかけを作り、同時に自分自身の思いに気づけるよう具体的な言葉掛けをするようにしています。そして、リアルタイムで適切な声掛けをしていくことです。友達とのトラブルがあった時に、その場で何があったのかを確認し解決に導きますが、子ども同士で解決策が導けそうな場合は振り返りタイムを作り、その時に手立てを一緒に考えられるよう見守っています。子ども達をほめる場面では、今日頑張った姿に着目して子どもに伝えることで「見てくれている」という安心感につながればと考えています。



昨年度より、園全体の取り組みとして保護者の方に現在の保育をドキュメンテーションで提供しております。写真やコメント等で可視化することで、子ども同士も遊びの振り返りになり、職員間の情報交換の場にも役立ち、次の保育計画や園内研修に活用しています。

最後に、保育士として働く中で支援の在り方等思い悩むこともありますが、それ以上に子ども達の明るい笑顔に支えられ今に至ります。これからも、保護者の方や地域の方々と共に、未来ある子ども達の力になればと思っております。



私の療育論

幼保連携型認定こども園いぬかいこども園
主幹保育教諭 若松 佳世

Light It Up Blue @「100年の樹」2023

大分県 大分市 大分県自閉症協会 「100年の樹」ブルーライトアップ実行委員会

「青で伝えたい思いがある」
私たちはこの活動を応援しています

2023 年度自閉症啓発デーイベント

毎年4月2日は、国連が定める世界自閉症啓発デーです。世界各地で自閉症を啓発するイベントが開催されています。さらに日本では4月2日から8日までを「発達障がい啓発週間」としており、大分県では大分いこいの道広場「100年の樹」モニュメントをブルーにライトアップする「Light It Up Blue@100年の樹2023」が行われ、自閉スペクトラム症児者の作品展示や物販なども行われました。4月2日には大分県と大分県自閉症協会共催で大分県発達障がい者支援専門員認定式と普及啓発講演会、個別相談会が行われました。今年の講演会は保育所等訪問支援たねまき 児童発達支援管理責任者 越智芳子先生による「こんな風に支援すると、こんな未来がありますよ～発達が気になってる子どもたちとともに～」という演題で講演頂きました。長年の保育士の経験を踏まえた、お母さんたちや支援者にとってとてもわかりやすい、力をもらえる講演でした。リモートでの視聴も合わせると100名以上の方に参加していただきました。また、2日の夜には「100年の樹」ライトアップの点灯式が行われ、たくさんの方にご参加いただきました。ご来場いただいた方、ありがとうございました。



令和4年度 研修委員会 年間活動報告

月 日	開催	研修内容・演題	講師
4月 1日	キャリアパス研修 ①	萌葱の郷の理念・これまでの歩み・展望について	社会福祉法人萌葱の郷 理事長 五十嵐 康郎
23日	事業所内研修	五感分析・代弁的コミュニケーション支援・五感域分析 ドラマティック保育・カウンセリングについて	幼保連携型認定こども園 こざいこども園 園長 五十嵐 猛 他職員
28日	キャリアパス研修 ②	接遇マナー研修	障がい福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい 施設長 近藤 暢秀
5月 1日	事業所内研修	てんかん研修 新規事業について	ライフサポートセンター なごみ園 看護師 大津留 類 ライフサポートセンター なごみ園 施設長 秋月 正博
27日	キャリアパス研修 ④	自閉症・発達障がいの基礎知識（心の理論について）	大分県発達障がい者支援センター ECOAL 副センター長 田中 秀征
6月 4日	キャリアパス研修 ③	五感について	幼保連携型認定こども園 こざいこども園 園長 五十嵐 猛
4日	フォローアップ研修	虐待防止・身体拘束について	戸次なごみ園 園長 福田 和彦
24日	中堅職員研修	先輩職員体験談・意見交換会	こども発達・子育て支援センター なかよしひろば 管理者 新宮 貴志 へつぎ保育園 園長 斉藤 鈴代 ホームヘルプサービスセンター らすかる 管理者 後藤 哲也 こども発達・子育て支援センター なかよしひろば 支援係長 釘宮 慎太郎 こども発達支援センター 大分なごみ園 主任支援員 井上 智恵 こざいこども園 主任補看護師 田口 妙子
7月 29日	キャリアパス研修 ⑥	てんかんについて	障害者支援施設 めぶき園 主任看護師 甲斐 和歌子
10月 15日	事業所内研修	虐待防止・身体拘束について	戸次なごみ園 園長 福田 和彦
11月 1日	事業所内研修	臨床動作法	こころとからだの発達相談塾 maba 中野 弘治
5日	事業所内研修	インリアル法（乳幼児の心の育ちと関わり方について）	臨床心理士 合田 紀子
19日	事業所内研修	保育ドキュメンテーションの活用について	幼保連携型認定こども園いぬかいこども園 副園長 平岡 千枝
25日	キャリアパス研修 ⑦	感染症について	障がい福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい 看護係長 首藤 千鶴代
1月 7日	事業所内研修	ビジョントレーニングについて	こども発達・子育て支援センター なかよしひろば 支援係長 釘宮 慎太郎
13日	キャリアパス研修 ⑤	虐待防止・身体拘束について	戸次なごみ園 園長 福田 和彦
19日	キャリアパス研修 ⑧-1	AED 研修	豊後大野市消防本部
2月 1日	キャリアパス研修 ⑧-2	AED 研修	株式会社サニークリーン
10日	事業所内研修	萌葱の郷メソッドについて	戸次なごみ園 園長 福田 和彦
3月 4日	事業所内研修	動作法	からだの教室 laugh 阿部 京子
10日	事業所内研修	作業療法士の視点による発達支援	公益社団法人 大分県作業療法協会 永松 謙一
13日	事業所内研修	保護者の思い	障害者支援施設 めぶき園 保護者 衛藤 成治



萌葱の郷 子育て奮闘記

平川…まあ、そうですね。新生児を丸一日と

で、想像以上にきつかったですよね。本当に、

極限まで頑張って育児ノイローゼってこんな感じ

なんです。子どもがかわいく見えなくなっ

たんで、泣き声も耐えられなくなりました

って、僕がきつかったり難しいところを奥さん

に話してそこはカバーしながら、奥さんは奥

さんで子育てが苦手な所があったんで、そこは話

し合いましたね。こういう時はこうしてほし

みたいなの、ですね。

後藤…育児に消極的というわけではないん

ですが、たぶん考えは昔ながらっていうか、女性

が基本は子育てをするっていうのがメインにあ

ります。なので自分の意見を出すよりは私が

やりやすいように考えてくれた方がいいんじ

ゃないかみたいな所がたぶんあったので、基本私

の流れでやらせてくれましたね。でも、ちよ

平川…ホントにあって、人って頼れる相手がい

ると頼るし、さぼりがち。なんてこうして

れんのやろ？ってあると思うんですけど、それ

たら、はなから一人の方が多分回せるとい

うか、本当に人手がいればいいっていう問題で

はないかなと痛感しました。

後藤…私も取ってほしくはないかな？(田中

さん、平川さんと) 同じ感じで、やっぱり一

人だと自分一人の時間でいろいろペース配分

できるけど、二人いるとこの人がこうしてく

れるんじゃないかっていう期待とかも入って

イライラするし(笑)こちの負担と向こうの負担の割

合とか考えちゃいそうだなと思って。

平川…平川さんは二か月くらいしか取らな

かつたっていうのは、やっぱり給料面とかの問題

ですか？

平川…やりたいことがあって育児中に、その

期間ダラダラと取っても行動に移せないかな

後藤…小学校の準備からですけど、こんなに

やることある？みたいな。私最初小学校にな

ったら手がかららない、手が離れて楽になるよ

って話聞いていたから、やったって思ってた

ら、誰だそんなこと言ったの！みたいな(笑)3月

から結構ちよとチーンなってる時期が準備と

仕事と重なってっていう時があったんですけど、

ただ今の所属の方たちが、かなり手伝ってく

ださるというか気遣ってくださる方たちが多

いので、そこは自由に休みを調整したりとか

させてもらってましたね。

田中…いやもう小一の壁というのがあります

よ。

後藤…ほんとありますね。預け先も土曜

日ないし、向こう(夫)と調整しながら、

平川…やっぱり夫婦で分担しながら調整し

ながらやってる感じなんです。平川さん家

もそんな感じですか？

よ。男性がもし取るとしたときに、例

えばばくは二か月。最長で一年くらい

取るんですかね？そのただ休めてラッキー

という感覚では取らない方がいいかなとい

うところは、お金が少なくて夫婦関係が

ちよとこじれそうでも、そのリスクを取

っててもやりたい事があるなら取るべき

だと思うし。そこはあまり偉そうに言

うのもあれなんですけど、安易に決

断しない方がいいかなとは取って

思いました。

田中…夫婦関係はリスクだと思います。

平川…マイナスが多いですね。

田中…うん。たぶん。

竹永…やっぱり喧嘩するんですか？

田中…いや、喧嘩っていうか喧嘩

まで至らなくても、たぶんお互い

沸々と思うところが出てくると思

3歳と9か月の娘の母

4歳の男児と11か月の娘の父

小1女児と4歳の男児の母

インタビュー



田中みのり

平川義将

後藤久美子

竹永由起子

プラスα主任相談員

こざいこども園保育教諭

イコール主任相談員

めぶき園支援係長



令和5年度 入社式&辞令交付式

今年度4月3日に入社式を執り行いました。フレッシュな職員21名が新たに仲間に加わりました。新入社員の皆さん、ご入社おめでとうございます。

入社式では、五十嵐康郎理事長の訓示や五十嵐猛部長の激励メッセージを新社員一同、真剣な表情で噛みしめているようでした。

新入社員の皆さんの今後の活躍が楽しみです!一緒にがんばりましょう!



令和5年度 社会福祉法人 萌葱の郷 入社式 21名



萌葱の郷 新法人理念 Heart, Science, Art みんなでハッピー

萌葱の郷では、今後の保育、教育、支援の更なる展開、『みんなで、ハッピー』を目指して新しい法人理念を策定しました。詳細は、折込み紙に掲載していますので、ご覧ください。



協力者御芳名 (順不同)

- 株式会社 富士設計 様 ・ 高橋歯科医院 院長 南部 貴志 様 ・ 社会福祉法人三重福祉会すがおこどもクラブ 様
- 村上 敬子 様 ・ 薬師神 悦子 様 ・ 合田 紀子 様

大分市

法人本部

大分県大分市中戸次 5620-1
TEL 097-574-8688 FAX 097-574-8687
honbu@moeginosato.net

へつぎ保育園

大分県大分市中戸次 5620-2
TEL 097-574-8673 FAX 097-574-8674
hetsugihokuen@moeginosato.net

大分県発達障がい者支援センター ECOAL

大分県大分市中戸次 5628 番地の1
TEL 097-578-6952 FAX 097-578-6953
ecoal@moeginosato.net

こざいこども園

大分県大分市大字屋山 1658-6
TEL 097-528-9900 FAX 097-528-9911
kozai@moeginosato.net

わくわくかん / 相談支援事業所 プラスα

大分県大分市大字屋山 1658-1
TEL 097-592-8989 FAX 097-592-8990
waku2can@moeginosato.net

こども発達支援センター 大分なごみ園

大分県大分市丹生 210-3
TEL 097-524-3636 FAX 097-524-3637
oitanagomien@moeginosato.net

戸次なごみ園 / グループホームかわしま・へつぎ様

大分県大分市中戸次 4454-1
TEL 097-578-8323 FAX 097-578-8324
hetsuginagami@moeginosato.net

豊後大野市

障害者支援施設 めぶき園

大分県豊後大野市犬飼町下津尾 4355-10
TEL 097-578-0818 FAX 097-578-0819
mebukien@moeginosato.net

ホームヘルプサービスセンター らすかる (めぶき園内)

大分県豊後大野市犬飼町下津尾 4355-10
TEL 097-578-1888 FAX 097-578-0819
rasukaru@moeginosato.net

相談支援事業所 プラス (ゆうゆうキッズ内)

大分県豊後大野市犬飼町田原 1416-1
TEL 097-578-1500 FAX 097-578-0166
plus@moeginosato.net

障がい福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい

大分県豊後大野市犬飼町久原 1863 番地 8
TEL 097-578-0077 FAX 097-578-1226
donko@moeginosato.net

グループホーム かわしま

大分県豊後大野市犬飼町下津尾 3709-8
TEL 097-578-0885

ライフサポートセンター なごみ園

大分県豊後大野市犬飼町大寒 2149 番地 1
TEL 097-586-8070 FAX 097-586-8071
nagomi@moeginosato.net

いぬかいこども園

大分県豊後大野市犬飼町田原 1419
TEL 097-578-0706 FAX 097-578-0710
inukai-hokuen@moeginosato.net

いぬかい子育て支援センター ゆうゆうキッズ

大分県豊後大野市犬飼町田原 1416-1
TEL 097-578-0188 FAX 097-578-0166
yoyoukids@moeginosato.net

こども発達・子育て支援センター なかよしひろば

大分県豊後大野市犬飼町田原 1414-1
TEL 097-586-8811 FAX 097-586-8818
nakayoshi@moeginosato.net

いぬかいこども園 なかよしホール

大分県豊後大野市犬飼町田原 1421-40

編集後記

暖かい日が増え、太陽が眩しく感じる日が増えてきましたね。気づけばあっという間に夏が来そうです。ここ数年はコロナウイルスに振り回される日々が続いてきましたが、ようやく少しずつ落ち着きが見えてきました。コロナ禍を乗り越えて新しい生活の形やスタイルがさらに多様になるかもしれないですね。個人的にはそろそろパーツと飲みに行ったり旅行に行ったりしたいのですが、まだまだ少し様子をみたいところですね。ただ、規制が緩和されてきたりと以前のような日常に戻つつあるのを実感しています。今年度もよろしくお願いたします。